

SSKS

2025. 7 月号

No. 576

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



じゃがいも大収穫！！



千川おひさま幼児教室の子どもたちは、今年も元気にじゃがいも掘りへ！！

真夏のような暑すぎるくらいの天気の下、一生懸命に土を掘って、じゃがいもを見つけることができました。手のひらサイズからひときわ大きなものまで、大きさや形はさまざま。土の中から昆虫の幼虫も見つけて、少しばかりの自然を感じ、楽しみました。

小さな手で大きな収穫、がんばりました！！



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



幼児から高校生までの一貫した支援 ～千川さくらっこクラブのとりくみを通して～

千川さくらっこクラブ（以下、さくらっこ）は今年度で開所 15 年目の放課後児童健全育成事業の学童クラブです。定員は 10 名で、愛の手帳を所持している小学 1 年生～6 年生までの、保護者が就労している児童等が対象となっています。平日は学校終了後から、学校の長期休暇などは朝から利用が可能で、18 時までご利用いただいています。さくらっこの活動内容は放課後児童クラブ運営指針と児童発達支援ガイドライン、放課後等デイサービスガイドラインに示されている本人支援の 5 領域（健康・生活／運動・感覚／認知・行動／言語・コミュニケーション／人間関係・社会性）を基にして定めています。

千川さくらっこクラブの活動内容

さくらっこでは、曜日によって活動内容を変えています。
（月）音楽（火）運動（水）アート（木）買い物（金）公園
としています。音楽・運動・アートは月単位で活動計画を立てています。月単位で計画することで、子どもたちの成長に合ったもの、季節感のあるものを提供することができています。

音楽は、楽器に触れて音を鳴らすことや曲に合わせて職員と一緒に踊っています。

運動は、リズム運動、サーキットで体を大きく動かすことやボールやはしごなどの道具を使って投げる・掴むなど指先を意識した動きをしています。

アートは、個別の製作や共同の製作をしています。完成した作品はせんかわアート展やあったかまつりなどに展示しています。

買い物は、みんなで近くのお店におやつを買いに行きます。その際はおやつを決める人、お店のカゴを持つ人、お金を払う人、と前もって役割を決めて出かけます。お当番は週で交代するので、全員がどの係にもかかわることができるようにしています。買った商品はおやつ時間に食べています。



【お買い物では好きなおやつを選びます】



【アート活動の様子】

公園は、近隣の公園に遊びに行きます。外での活動時には「（道中は）走らないで歩く」「公園の外には出ない」「順番を守って遊ぶ」「公園で楽しく遊ぶ」「さくらっこさん集まれ～のかけ声で集まる」などのルールを確認しています。外での活動を通して地域の方々との交流の機会にもなっています。

できることを増やしていく

当法人は児童発達支援の千川おひさま幼児教室（以下、おひさま）、千川さくらっこクラブ、放課後等デイサービスの千川さくらんぼクラブ（以下、さくらんぼ）の3事業所を幼児児童支援部として運営しています。おひさまは未就学児のお子さんが対象となっていて、さくらんぼは小学5年生～高校生が対象となっています。

「できることは自分でできるように、できることが増えるように」は法人全体で大切にしている支援の方針です。また、「人を育てる」ということは、人とかかわりを通して「生きる力」「学ぶ力」から「働く力」そして、「暮らす力」を育てていくことと考え、自立と社会参加をめざしています。幼児期は人とかかわる力、生きる力の基礎を身につけます（まずは、職員とのやりとりを通して「かかわる力」を養っています）。小学生は職員とのやりとりはもちろん、お友だち同士のやりとりも増えてきま



【準備と片づけはみんなで協力】



【全員分のお茶を用意してくれます】

す。そして、「かかわる力」を基本として集団活動におけるルールなどを「学ぶ力」に重点をおいて活動を行なっています。中学生・高校生は「かかわる力」は基礎にありつつ「学ぶ力」「働く力」の育成を中心にしてとりくんでいます。とくに、高校生は卒業後の生活に向けて集団での活動に集中してとりくむことができるように「働く力」の基礎を養っています。このように、幼児児童支援部の3事業所は幼児から高校生に対して一貫して、毎日の積み重ねを大切に、少しずつ自分でできることを増やしています。

幼児から高校生までの一貫した支援

今年度さくらっこには、おひさまを卒園した2名が入ってきました。さくらっこから卒業した2名がさくらんぼに入りました。新しい事業所でも同じ支援方針で活動に参加できるように、幼児から高校生までの一貫した支援をしています。そのために、児童発達支援ガイドラインと放課後等デイサービスガイドラインの5領域を基にした支援目標をつくり、目標に則した活動をつくっています。利用者個々によって成長の段階は違います。それぞれの活動には利用者個々の目標があります。それに向かってどのようにとりくんでいくかが事業所として求められています。そのため職員は子どもたちが楽しく、意欲的に参加できる活動づくりとていねいな支援を心がけています。また、子どもたちと一緒に職員自身も楽しんで活動に参加することで、活動に一体感もうまれ子どもたちとの関係性も深めることができます。

一つひとつ階段を上るように幼児期・学齢期・青年期までの繋がりのある支援になるよう努めています。法人としてはさらに成人期に繋げることができるようにとりくみを進めていきます。

（文責：千川さくらっこクラブ 八田 麻衣）

きょうされん夏季販売がはじまりました



なかまのうた・グッズ
コレクションもぜひ！



夏の風物詩として毎年楽しみにしている方も多い、きょうされんの夏季販売。
今年もこの季節がやってきました！！
この季節だけのおいしいゼリーや冷やし中華、
ラー油あらね、Tシャツ、フェイスタオルなどの
アイテムを多数そろえています。
今年のおススメ商品の一部をご紹介します！お
申し込み締め切りは7月15日（火）です。

【とびっくす】～インスタだより vol.25～ #運動活動



生活介護事業所では、運動活動が本格的に始動！！
利用者の特性に合わせた運動プログラムの提供と、運動指導をサポートして下さるのは、昨年度、ななほしワークスでお世話になった NPO 法人 SSAI 協会の方々です。
利用者の明るく楽しそうな表情を、そして想定していた以上の意欲的な姿を、千川作業所やワークイン中町でも見ることができるようになりました。今後も楽しみです！

今月の動向 ～令和7年6月～

5 日(木) 理事会、全体研修「倫理」
8 日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
10 日(火) 親子ひろば
12 日(木) 地域生活支援部・生活介護学習会
評議員選任・解任委員会
16 日(月) 全体研修「倫理」
18 日(水) 所長会議
24 日(火) 常任理事会、評議員会、理事会
25 日(水) 幼児児童学習会

来月の予定 ～令和7年7月～

3 日(木) 学ぶ学習会、B 型学習会
8 日(火) 常任理事会
10 日(木) 児童発達支援事業所交流会
11 日(金) 法人家族懇談会
13 日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
14 日(月) 一般職層研修「コミュニケーション」
16 日(水) 所長会議
17 日(木) 経営研修「決算書の読み方」
18 日(金) 人権・虐待防止研修
29 日(火) 常任理事会



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>